

解 答 解 説

第1問(配点 20 点)

⇒30 字×4

Step1 題意⇒SWOT分析

新規事業に進出した際のA社についてSWOT分析することを求めている。

Step2 解答の考え方・導き方

第1問は、A社の強み・弱み・機会・脅威を求める「現状分析(SWOT分析)」の問題である。SWOT分析の視点から問われる設問には、おおよそのキーワードを準備しておくと対応しやすい。事例文には、A社のSWOTに関するヒントが多数述べられていたため、これらのヒントとキーワードを因果で書くことでこの事例らしい解答を演出したい。今回の設問は、「新規事業に進出した際の」と記されていることから、時制的な点にも注意していきたい。また、強みや弱みは、つまりどういう状態であるのか「〇〇力」と簡潔にまとめていく意識を持っていきたい。

Step3 解答の具体的展開方法

事例文中のヒントを利用して、以下のように解答を展開することができる。

- ・主力事業である内装材の製造で培われた薄板加工技術や、美しい木目を活かすための仕上げ技術
- ・長年にわたる木材の調達で構築してきた同県内の林業家や製材所とのネットワーク

▲つまり強みは

内装材製造で培った加工技術・林業家等との良好な関係性

- ・景気や政策の影響を受けやすく安定的な収益確保が難しくなっていた。
- ・既存事業を支えてきた社員たちは新規事業の必要性を十分には理解できなかった。

▲つまり弱みは

内装材事業の収益性の低下・新規事業に消極的な組織体制

- ・「自然素材」「国産材」への関心の高まりである。特に、子育て世代を中心に、子どもたちが触れるものに対して、安心・安全な素材を求める傾向が強まっていた。

▲つまり機会は

子育て世代を中心とした自然素材や木育への関心

- ・内装材市場における企業間の競争激化と公共案件の不安定性であり、とりわけ、後者は景気や政策の影響を受けやすく安定的な収益確保が難しくなっていた。

▲つまり脅威は

内装材市場の企業間の競争激化や公共案件の不安定性

合格点・高得点のポイント

「～等、〇〇力」とキーワード的に書けると説得力のある解答になる。試験中には簡単には思い浮かぶものではないため、事前にキーワードを準備しておきたい。